

「病床機能情報の報告・提供の具体的なあり方に関する検討会」 の開催について

1 開催の趣旨

- 一般病床の機能分化については、昨年12月にとりまとめられた社会保障審議会医療部会意見書を踏まえ、「急性期医療に関する作業グループ」が設けられ、計8回にわたり議論が行われた。本年6月には「一般病床の機能分化の推進についての整理」がとりまとめられ、社会保障審議会医療部会です承されたところ。
- とりまとめでは、一般病床の機能分化の推進に向け、医療機関が担っている医療機能を都道府県に報告する仕組みを導入することとされ、「報告を求める各医療機能の考え方や具体的な内容については、医療提供者や利用者の意見も踏まえながら、医療部会の下に設ける検討の場において、別途検討を進める」とされた。
- これを踏まえ、報告を求める医療機能の考え方や具体的な報告事項等について検討を行うため、「病床機能情報の報告・提供の具体的なあり方に関する検討会」を開催する。

※ 一般病床の機能分化の推進についての整理（とりまとめ）（抄）

- 各医療機関は、急性期、亜急性期、回復期その他主として担っている医療機能の内容を報告する。
- 報告する医療機能毎に、提供している医療の機能や特性、人的な体制、構造設備などの病床機能についても併せて報告する。報告を求める各医療機能の考え方や具体的な内容については、医療提供者や利用者の意見も踏まえながら、医療部会の下に設ける検討の場において、別途検討を進める。

2 検討事項

- 報告を求める医療機能（急性期、亜急性期、回復期等）の具体的な内容について
- 医療機能毎の報告事項（提供している医療の機能や特性、人的な体制、構造設備など）について 等

3 構成員

別紙のとおり

4 運営

- 原則として公開とする。ただし、公開することにより、個人又は団体の権利利益が不当に侵害されるおそれがある場合等、非公開が妥当であると座長が判断した場合には、非公開とする。

病床機能情報の報告・提供の具体的なあり方に関する検討会
構成員名簿

(敬称略。五十音順)

氏名	所属・役職
相澤 孝夫	一般社団法人日本病院会副会長
安部 好弘	公益社団法人日本薬剤師会常務理事
遠藤 久夫	学習院大学教授
尾形 裕也	九州大学大学院医学研究院教授
高智 英太郎	健康保険組合連合会理事
齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会常任理事
西澤 寛俊	社団法人全日本病院協会会長
花井 圭子	日本労働組合総連合会総合政策局長
日野 頌三	社団法人日本医療法人協会会長
松田 晋哉	産業医科大学教授
三上 裕司	社団法人日本医師会常任理事
山口 育子	NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長
山崎 理	新潟県福祉保健部副部長